令和６年度

# シラバス（専門教科）

～農林技術科　２年～

鹿児島県立伊佐農林高等学校

# 農林技術科２年　専門教科

共通


課 題 研 究　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１
総 合 実 習　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３
農業と情報　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５
農 業 機 械　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
森 林 科 学　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ９


農業類型


野　　菜　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ11
畜　　産　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ13
食品製造　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ15
地域資源活用・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ17


林業類型


林産物利用　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ19
測　　量　・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ21

（新課程用）

| 課題研究 | 単　　位　　数 | ３単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科　第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | (1) 生徒自ら課題を設定して計画を立て実施することで，計画性，実践力及び問題解決の能力を養います。<br>(2) 自主的,継続的に学習することで探求的,創造的な態度と能力を身に付けます。<br>(3) 課題解決により，成就感と自信を持つことで，自己実現を図る能力と態度を身に付けます。 |
| 使用教科書・副教材等 | 各専攻によって異なる。 |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単　元　名<br>学 習 内 容 | 月 | 学習のねらい<br>評　価　規　準 | 備　考<br>（学習活動の特記事項他） |
|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 課題発見とテーマの決定<br>計画（計画の立案）<br>実施（学習活動） | 4<br>5<br>6<br>7 | ・課題研究の意味を理解します。<br>・自分の専攻班の中で課題を見出し，研究テーマを決定します。<br>・テーマに従って課題解決の計画を作ります。<br>・計画に従って学習活動を行います。 | ・農業の専門教科での学習を基本に担当教員と綿密に打ち合わせをします。<br>・計画に従い無理の無いよう実施します。 |
| | 【課題・提出物等】<br>・テーマ及び計画書を提出します。<br>・実施日誌等を提出します。 | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>・学習に取り組む態度や意欲（服装，出席状況，提出物等）により評価します。 | | | |
| 二学期 | 実施（学習活動）<br>学習のまとめ<br>発表原稿の作成 | 9<br>１０<br>１１<br>１２ | ・１学期に引き続き活動を行います。<br>・学習結果に従い結果をまとめます。<br>・発表に備え，原稿のまとめやプレゼンテーションの作成を行います。<br>・データの分析や考察の検討を通して，論理的思考を身に付けます。 | ・実施の状況を担当教諭と連携をとり的確な実践になるようにします。<br>・得られた結果が適切に理解できるようにまとめをします。 |
| | 【課題・提出物】<br>・実施日誌等を提出します。<br>・課題研究のまとめを提出します。 | | | |
| | 【第２学期の評価方法】<br>・学習に取り組む態度や意欲（服装，出席状況，提出物等）により評価します。 | | | |
| 三 | 研究発表 | 1 | ・作成した原稿とプレゼンテーションを | ・結果を整理し的確な発表を |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 学期 | | 2<br>3 | 用いて発表します。<br>・研究冊子　まとめ | 行います。 |
| | 【課題・提出物等】<br>・実施日誌等を提出します。<br>・課題研究のまとめを提出します。 | | | |
| | 【第３学期の評点方法】<br>・学習に取り組む態度や意欲（服装，出席状況，提出物等）により評価します。 | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>各学期末の観点別評価を総合し，年間の学習成績を５段階にまとめる。 | | | | |

（２）　評価の観点，内容及び評価方法

学習状況は，「知識・技能」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知　識　・　技　能 | ・課題解決に向けての実習や実験内容の基本的な知識を理解し，そのための技術が身についている。 | ・学習活動への参加の仕方や態度<br>・発表<br>・記録簿（まとめ・考察・感想） |
| 思考・判断・表現 | ・課題を多面的にとらえ考察を行っている。<br>・課題を科学的にとらえ合理的に解決する実践的な態度を身に付いている。<br>・結果の考察などが正確に表現できるか。 | ・レポート<br>（日誌のまとめ，考察・感想） |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・課題設定や計画立案を積極的で，解決に向けて協働的に取り組む態度が身についている。<br>・実習に対する服装や姿勢が，良好で意欲に学習している。 | ・実験の進め方<br>・器具の取扱い<br>・レポート<br>（日誌のまとめ，考察・感想） |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの‥‥‥‥‥A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの ‥‥‥B<br>「努力を要する」 状況と判断されるもの ‥‥‥‥‥C | | |

３　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | 農業科目という一つの観点で見るのではなく，その他の科目（国語や数学など）の観点からも見つめ考えなければならない。苦手分野もこの課題研究に取り入れることによって，自分の学力につなげてもらいたい。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | 普段疑問に思っていたことや研究してみたいことを課題とし，その課題解決のために様々な観点から考察できるように，普段から積極的に授業に取り組んでもらいたい。 |
| その他 | 特になし |

（新課程用）

| 総合実習<br>（部門別） | 単位数 | 3単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第2学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | (1)体験的な学習を通して，総合的な知識と技術を習得します。<br>(2)専攻においての内容理解を深め，基礎的専門分野の知識や実技など実践的な能力と態度を育てます。 |
| 使用教科書・副教材等 | 実験実習ノート |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 専攻別での専門学習<br>・大家畜・作物班<br>・中小家畜班<br>・園芸班<br>・林業班<br>・食品加工班 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・専攻における基本的な作業管理・技術を学び，専門的知識・技術を学びます。<br>・農業技術検定の初級・中級の合格を目指します。<br>・農業鑑定競技や意見発表を通して，農業に関する知識を深めます。 | ・レポートの書き方と整理法について学びます。<br>・実技テストの実施について学びます。<br>・各種競技会へ参加する態度を養います。<br>・生産物の販売を行い，接客などを学びます。 | |
| | 【課題・提出物等】<br>・毎回の総合実習のレポート提出<br>・意見発表原稿提出 | | | | |
| | 【第1学期の評価方法】<br>・出席点　・毎回の実習態度　・毎回のレポート提出　・校内農業鑑定競技<br>・意見発表への積極的参加と結果<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 専攻別での専門学習<br>・大家畜・作物班<br>・中小家畜班<br>・園芸班<br>・林業班<br>・食品加工班 | 9<br>10<br>11<br>12 | ・専攻における基本的な作業管理・技術を学び，専門的知識・技術を学びます。<br>・農業技術検定の初級・中級の合格を目指します。<br>・産業現場での総合的な実習を通して，農業生産工程管理やマーケティング，労働管理の手法等を学びます。 | ・各種競技へ参加する態度を養います。<br>・生産物の販売を行い，接客などを学びます。 | |
| | 【課題・提出物等】<br>毎回の総合実習のレポート提出 | | | | |
| | 【2学期の評価方法】<br>・出席点　・毎回の実習態度　・毎回のレポート提出<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 三学 | 専攻別での専門学習<br>・大家畜・作物班<br>・中小家畜班 | 1<br>2 | ・専攻における基本的な作業管理・技術を学び，専門的知識・技術を学びます。 | ・実技テストの実施について学びます。 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 期 | ・園芸班<br>・林業班<br>・食品加工班 | 3 | ・農業技術検定の初級・上級の合格を目指します。 | ・生産物の販売を行い，接客などを学びます。 | |
| | 【課題・提出物等】<br>毎回の総合実習のレポート提出 | | | | |
| | 【３学期の評価方法】<br>・出席点　・毎回の実習態度　・毎回のレポート提出<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。 | | | | | |

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | ・各専攻に関する基礎的な知識と技術を身につけ，特性と社会環境の関係や育成の過程等を理解しているか。 | 日本農業技術検定<br>レポート |
| 思考・判断・表現 | ・管理の記録を分析するなど課題を多面的に考察しているか。<br>・見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。 | レポート<br>意見発表 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・各専攻学習に興味・関心を高めているか。<br>・各専攻に関するプロジェクトを主体的に行うなど課題の探求に意欲的に取り組むとともに，その課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけているか。 | プロジェクト発表<br>農業鑑定競技<br>レポート |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B<br>「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C | | |

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ・農業技術検定を繰り返し勉強し，合格の目標を持って真剣に取り組んでください。<br>・授業で学んだ事をレポートに書きとめ，積極的に質問して下さい。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ・授業はチャイムと同時に始めますので，時間厳守で集合して下さい。<br>・実験・実習の際は道具などの取り扱いには万全の注意をして下さい。<br>・授業の最後は後片付けをしっかりして下さい。<br>・校外での実習等ではマナーをしっかりと守って下さい。 |
| その他 | ・総合実習を通して，基本的な知識の習得から専門的な知識の理解を深めましょう。<br>・農家や企業などの訪問を通して，地域との関わりを深め，地域農業を活性化しましょう。<br>・プロジェクト発表や農業鑑定競技等の各種競技大会に積極的に参加し，自らの力を発揮しましょう。 |

（新課程用）

| 農業と情報 | 単位数 | 2単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第2学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1　農業に関する情報を体系的・系統的に理解し，関連する技術を習得する。<br>2　農業に関する情報の調査・分析・活用ができるように，課題について主体的・協働的に取り組む。 |
| 使用教科書・副教材等 | 教科書：実教出版「農業と情報」<br>副教材：「全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集2級」（実教出版）<br>「全商情報処理検定模擬試験問題集3級」（実教出版） |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学期 | 4　スマート農業への展望<br>1　スマート農業のめざす将来<br>2　システム開発と設計<br>3　プログラムの設計<br>4　計測と制御<br>5　リモートセンシングとGIS<br>6　人工知能 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・データの重要性や農業情報システムについて理解します。<br>・システム開発・設計の流れを理解します。<br>・プログラムの設計の流れを理解します。<br>・計測と制御のメカニズムを理解します。<br>・リモートセンシングとGISの概要について理解します。<br>・人工知能の概要やロボット農機を理解します。 | ビジネス文書実務検定（3・2級） | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリント，実技の印刷物，ノート | | | | |
| | 【第1学期の評価方法】<br>1　毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 5　農業情報の分析と活用<br>1　農業情報の収集と分析<br>2　農業生産や経営情報の分析と活用<br>3　環境に関する情報の分析と活用<br>4　食品や地域資源に関する情報の分析と活用 | 9<br>10<br>11<br>12 | ・農業情報の種類と内容について理解します。<br>・農業生産や農業経営，出荷，販売に関する情報を活用します。<br>・環境情報の種類と情報内容および活用について理解します。<br>・食品の安全性や地域資源を守るための情報活用技術について理解します。 | ビジネス文書実務検定（3・2級）<br>全商情報処理検定(3級) | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリント，実技の印刷物，ノート | | | | |
| | 【2学期の評価方法】<br>1　毎時間の学習時間への取り組む態度，検定試験に向けての実技の成果，課題の提出状況と定期考査等の成績などで評価します。<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 6　農業学習と情報活用<br>1　農業学習とプロジェクト学習<br>2　プロジェクト発表と情報発信<br>3　データの視覚化と分析 | 1<br>2<br>3 | ・農業学習の特徴とプロジェクトの四段階について理解します。<br>・学校紹介プレゼンを作成します。 | ・プロジェクトの実施について学びます。 | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリント，実技の印刷物，ノート | | | | |
| | 【三学期の評価方法】<br>1　毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。 | | | | | |

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 農業情報処理の基本的な知識と基礎的な技術を身につけている。 | 学習活動の取組,毎時間のファイル提出<br>定期考査 |
| 思考・判断・表現 | 基本的な操作や技術を理解して,それらを状況に応じて創造的に考えて，利用・表現できる。 | 学習活動の取組，毎時間のファイル提出<br>定期考査 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ワープロや表計算,プレゼンテーションソフトの学んだ技術を総合的に活用するとともに,資格取得などに主体的に取り組んでいる。 | 学習活動の取組<br>資格取得 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B<br>「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C | | |

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ①　積極的に取り組みましょう<br>②　資格取得に向けて放課後なども自主的にチャレンジしよう。<br>③　授業をしっかり聞き，重要な文章には赤線を引く。<br>④　分からないところはそのままにせず，先生に聞きにくる。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ①　座学では始まりのチャイムで着席しておくこと。<br>②　積極的に発言すること。<br>③　実技では，先生の注意や指示を厳守すること。<br>④　服装は正しく着用すること。 |
| その他 | ①　様々なソフトウェアの基本的な技術を主体的に学び，活用できるようにしよう。また，資格取得にも積極的に参加しましょう。<br>②　情報モラルやセキュリティを十分に理解し，社会における情報を正しく活用できるようにしよう。 |

（新課程用）

| (教科)農　　業<br>(科目)農業機械 | 単位数 | 2単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第2学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1　農業機械の構造と機能についての理解と関連する技術を身につける。<br>2　農業機械に関する課題を見いだし，合理的解決する力を養う。<br>3　農業機械の特性を理解し，効率的な利用を自ら学び，主体的・協働的に取り組む。 |
| 使用教科書・副教材等 | 教科書：農業機械（実教出版）<br>副教材：チャレンジライセンス丙種危険物取扱者テキスト(実教出版) |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 第1章　農業機械の役割<br>1 農業機械化の意義<br><br>2 農業機械の利用とその現状<br><br>第2章　原動機<br>1 内燃機関<br><br>2 電動機 | 4<br><br><br>5<br><br><br>6<br><br><br>7 | ・農業機械の特徴を理解します。<br>・農業経営における機械の役割を理解します。<br>・農業機械にはどのような種類があるかを理解します。<br>・農業機械の発達の過程を調べます。<br>・農業機械の利用形態を理解します。<br>・内燃機械の種類と特徴を理解します。<br>・内燃機械の原理と構造を理解します。<br>・内燃機関の正しい取り扱いを身に付けます。<br>・電動機の種類と特徴を理解する。<br>・電動機の回転原理および構造を理解します<br>・電動機の安全な運転と取り扱いを身に付けます | ・危険物取扱試験対策に取り組みます。<br>・ガソリンエンジンとディゼルエンジンの違いについて調べます。<br>・まとめとしてレポートにまとめ提出します。 | 中間考査<br><br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【第1学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 第3章トラクタ<br>1 乗用トラクタ<br><br>2 歩行用トラクタ<br><br>第4章作業機<br>1 耕うん・整地用機械<br><br>2 育成・管理用機械<br><br>3 稲作用収穫・調整機械 | 9<br><br><br>10<br><br><br>11<br><br><br>12 | ・乗用トラクタの種類と特徴を理解する。<br>・乗用トラクタの安全な運転操作の仕方を身につけます。<br>・乗用トラクタの構造を理解し，整備の仕方を身に付けます。<br>・歩行用トラクタの正しく安全な操作方法を身に付けます。<br>・歩行用トラクタの構造を理解し，整備の仕方を身に付けます。<br>・耕うん・整地用機械の種類と特徴を理解します。<br>・耕うん・整地用機械の利用法を身に付けます。<br>・育成・管理機械の種類と特徴を理解します。<br>・育成・管理機械の利用法を身に付けます。<br>・イネの収穫に使われる機械について理解します。<br>・イネの調整に使われる機械や施設について理解します。 | ・乗用トラクタの運転操作をします。<br>・歩行用トラクタの運転操作をします。<br>・作業機の脱着及び耕うん作業をします。<br>・危険物取扱試験対策に取り組みます。<br>・まとめとしてレポートにまとめ提出します | 中間考査<br><br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【2学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 4 畑作用収穫・調整機械<br>5 飼料作用収穫・調整機械<br>6 運搬用機械<br>7 環境調整用機械 | 1<br>2<br>3 | ・畑作物の収穫に使われている機械について理解します。<br>・収穫物の調整に使われる機械や施設について理解します。<br>・飼料作物の利用方法と，使われる機械の関係について理解します。<br>・飼料作物の収穫・調整に使われる機械の種類と特徴について理解します。<br>・運搬用機械の種類と特徴を理解します。<br>・運搬用機械の安全な利用法を身に付けます。<br>・温湿度調節機械の種類と特徴を理解します。<br>・自動制御と環境制御機器の概要を理解します。 | ・危険物取扱試験対策に取り組みます。<br>・農業機械の整備用工具測定用器具を使用して点検作業をします。<br>・まとめとしてレポートにまとめ提出します。 | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【三学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。 | | | | | |

（2）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 農業機械について体系的･系統的に理解しているとともに,関連する技術を身に付けている。 | ・定期考査，発言<br>・レポート記入<br>・行動観察，実技 |
| 思考・判断・表現 | 農業機械に関する課題を発見し,農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決している。 | ・発表の仕方や内容<br>・定期考査，レポート<br>・行動観察，実技 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 農業機械について特性を理解し,効率的な利用につながるよう自ら学び,農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ・出席状況<br>・定期考査，発言<br>・行動観察，実技 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの･････････A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの･････B<br>「努力を要する」状況と判断されるもの･････････C | | |

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ・農業機械は，ＩＯＴやスマート農業の導入など，最新の技術が投入され日々進化する分野です。高校の学習で基礎的な知識を身に付けながら，時代の変化に対応するために様々な情報を取り入れ，将来に活かしましょう。<br>・地域を支える視点で自分たちができることは何か考え，積極的に授業に望むことを期待しています。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ・座学においては，教科書・ノート，実習においては，実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないことが大切です。<br>・授業中の指導者の指示に従うこと。特に，実習においては危険を伴う場合があるため，指導・注意されたことを守るようにしましょう。<br>・指示をよく聞いて，提出物は必ず出しましょう。 |
| その他 | ・農業機械の活用を農業経営の発展を図る視点で捉え，農業の生産性及び効率性の向上における応用力や実践力を身に付けてください。<br>・危険物取扱者試験にも積極的に挑戦し，資格取得を目指して取り組みましょう。 |

（新課程用）

| 農　　業<br>森林科学 | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | １森林の仕組みと機能を知り，地域ごとの自然条件に適した管理の技術を身に付けます。<br>２植物の生理，動物の行動，土の構造，水と大気の循環について基礎を学び生態系や森林保全，継続的な管理などを身に付けます。 |
| 使用教科書・副教材等 | 森林科学（実教出版），林業白書 |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 第１章　森林の役割<br>第１節森林の多面的機能<br>第２節　森林管理の意義<br><br>第２章　森林の生態<br>第１節森林の生態と分布<br>第２節林木の生育と環境 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・森林がどの様な働きをして自分たちの役に立っているか理解します<br>・森林管理の意義やこれまで培ってきた育林技術を学び課題と新しい方向を理解します。<br>・生態系の構造と機能を理解します。<br>・気候による森林の樹木の違いやその特長及び植物群落の遷移について理解します。<br>・樹木の植物的な基礎と森林を構成するおもな樹種の形態的特徴や性質を学び，林木の生育に関わる環境因子について理解します。 | ・校内の樹木について調べます。<br>・日本と世界の森林について比較します。<br>・さし木・接ぎ木の実習をします。<br>・山林実習を行います。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 第３章　森林の育成<br>第１節育苗と造林<br>第２節森林の保育と保護<br><br>第４章　山地の保全<br>第１節治山治水<br>第２節林道と作業道<br><br>第５章　木材の生産<br>第１節林木の伐採<br>第２節造材と集材<br>第３節木材の運搬 | 9<br>10<br>11<br>12 | ・森林造成に関わる経費間伐・里山の荒廃など適切な森林の育成・管理技術について理解します。<br>・森林造成のもととなる苗木の生産ならびに造林の基礎について理解します。<br>・森林のもつ国土保全機能や自然環境保全機能などを生かした災害防止や水資源のかん養などを実現する治山治水について理解します。<br>・森林から得られる最大の資源として木材の伐採・造材・集材・運搬について理解します。 | ・苗木の病害虫・森林の病虫害・動物被害について調べます。<br>・林業関係の資格取得について調べます。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【２学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 三学期 | 第６章　人間社会と森林<br>第１節森林利用の変遷<br>第２節流域社会と人の暮らし | 1<br>2<br>3 | ・森林が時代と共に変遷してきた過程や流域社会と人の暮らしから，わが国の森林や林業が直面している課題について考える。 | ・まとめとして総合実習等の結果をレポートにまとめ提出します。 | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【三学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。 | | | | | |

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 森林科学について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | ・定期考査，発言<br>・レポート記入<br>・行動観察，実技 |
| 思考・判断・表現 | 森林科学に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決している。 | ・発表の仕方や内容<br>・定期考査，レポート<br>・行動観察，実技 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 森林を科学的に捉えるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ・出席状況<br>・定期考査，発言<br>・行動観察，実技 |

【観点別学習状況の評価】
「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B
「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | 森林は人に様々な自然の恵みを与えてくれます。そもそもの自然の恵みは何なのか，森林の機能が発揮される科学的なメカニズムはどのようになっているのか，その恵みや機能を壊さずに，賢く維持するためにはどうしたらよいのか，地域を支える視点で自分たちができることは何か考え，積極的に授業に望むことを期待しています。 |
| 授業を受けるにあたって守ってほしい事項 | ・座学においては，教科書・ノート，実習においては，実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないことが大切です。<br>・授業中の指導者の指示に従うこと。特に，実習においては危険を伴う場合があるため，指導・注意されたことを守るようにしましょう。<br>・指示をよく聞いて，提出物は必ず出しましょう。 |
| その他 | ・林業就業支援講習等では，受講の際，欠席・遅刻等がないように気をつけましょう。<br>・資格取得講習（チェーンソー・刈払機）では指導者の指示に従い，事故や怪我をしないように真剣に取り組みましょう。 |

（新課程用）

| 野　菜 | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1　野菜の植物的特性や食生活における価値，農業の中での重要性などを理解する。<br>2　栽培や観察など体験的な学習を通して栽培管理の基本的方法を理解し，栽培できる能力を養う。<br>3　調査や実験を通して科学的に考える力や問題を解決する能力を高める。<br>4　生産物の商品化や流通について基礎的事項を理解し，経営に応用する資質を養う。 |
| 使用教科書・副教材等 | 野菜（実教出版） |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 第１章　野菜生産の役割と動向<br>1　野菜の種類と利用<br>2　野菜の消費<br>3　野菜の生産と供給 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・野菜を分類し，多くの種類を体系的に理解します。<br>・野菜の栄養価などの重要性を理解します。<br>・野菜の消費と生産の現状と動向を学習する。とりわけ消費者ニーズが多様化するなかで，品種改良や作型・栽培技術の発展・改良，輸入野菜の増加などについても理解します。 | ・多くの野菜を観察できるように，代表的な野菜や見本となる野菜を栽培しておき，名称や科名，原産地，作型，利用方法などを表示する。<br>・第４章以下で扱う各野菜の栽培管理を始め，栽培や観察，実験などを展開する。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>1　授業中に使用するプリント，ワークシートを各段階で提出します。<br>2　実験・実習についてはレポートを作成し，自己評価を行い，提出します。 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 4　野菜の安全性<br>第２章　野菜の生育特性と栽培環境の調節技術<br>1　野菜の生育と生理<br>2　野菜の栽培環境と生育調節<br>3　人工環境における栽培技術 | 9<br>10<br>11<br>12 | ・安全な野菜生産のために，多くの取り組みが必要であり，それが重要であることを理解します。<br>・野菜の種まきから収穫までの生育過程と生理的特徴を理解させ，栽培と環境についても理解します。<br>・施設栽培などの人工環境における栽培技術の基礎について理解します。 | ・第４章以下で扱う各野菜の栽培管理を始め，栽培や観察，実験などを展開する。<br>・先進的な大型施設栽培や植物工場などを見学する。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>1　授業中に使用するプリント，ワークシートを各段階で提出します。<br>2　実験・実習についてはレポートを作成し，自己評価を行い，提出します。 | | | | |
| | 【２学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| | 第３章　野菜の育苗<br>1　育苗の目的と方法 | 1 | ・育苗の目的と良い苗の特徴を理解し，育苗計画が立てられるよう | ・「苗半作」などと言われるように，苗の善し悪しが | 学年 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 2　育苗技術の実際と応用 | 2<br>3 | にします。<br><br>・用土の準備から種まきやつぎ木，温度管理などが実際にできるようにします。 | その後の栽培にとって大変重要であることを理解させる。 | 末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>1　授業中に使用するプリント，ワークシートを各段階で提出します。<br>2　実験・実習についてはレポートを作成し，自己評価を行い，提出します。 | | | | |
| | 【三学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。 | | | | | |

（2）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | ・野菜に関する基礎的な知識を習得し,それぞれの農業生産物の特性とそれを取り巻く栽培・飼育環境との関係を理解しているか。<br>・野菜に関する基礎的な技術を習得させ，プロジェクト学習の中で適切に生かすことができるか。 | ・定期考査<br>・発言<br>・ワークシートの記入<br>・行動観察<br>・実技 |
| 思考・判断・表現 | ・野菜について科学的な思考と問題解決能力を身に付け，日々の観察記録簿や資料等を使って調査したことの中から分析し，考察する。<br>・栽培上の課題を合理的に判断，日々の観察記録簿の中でのスケッチを利用した観察や考察が正しく表現することができるか。 | ・定期考査<br>・発言<br>・ワークシートの記入<br>・行動観察<br>・実技 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・野菜についての興味・関心を持ち，プロジェクト学習に主体的に取り組み，課題解決に向けて積極的活科学的に取り組もうとする実践的な態度を身に付けているか。 | ・定期考査<br>・発言<br>・ワークシートの記入<br>・行動観察<br>・実技 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B<br>「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C | | |

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | (1)教科書を読むなどし，予習・復習をしましょう。<br>(2)授業担当者の指示をよく聞き，指示された内容に集中して取り組む姿勢を持ちましょう。<br>(3)地域の農業の状況を観察し，学校農場と比較し，異なる点については調べてみましょう。<br>(4)授業や実習中に疑問に思ったことがあれば積極的に質問しましょう。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | 教科書とファイルを忘れずに準備しましょう。また，実習を伴うため，実習着などの忘れ物がないよう事前準備に気を配りましょう。授業中は私語を慎み先生の指示にしっかりと従いましょう。レポートやワークシートなどの提出物は期限を守ってしっかりと整理し提出しましょう。 |
| その他 | (1)農場等での調査・観察，スケッチ，教室での講義，レポート作成，グラフ作成など様々な形態の学習をするものを忘れないことが大切です。<br>(2)指示をよく聞いて，提出物は必ず出しましょう。また，学習道具や実習服などの学習に向けての準備するものを忘れないことが大切です。<br>(3)実習では，危険を伴う場合があります。指示をよく聞いて理解し，実習に取り組みましょう。 |

（新課程用）

| 畜　産 | 単位数 | 2　単　位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科　第　2　学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1．家畜の飼育と経営に必要な知識と技術を習得させる。<br>2．家畜の特性や飼育環境を理解させる。<br>3．合理的な家畜管理と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。 |
| 使用教科書・副教材等 | 教科書：実教　「畜　産」　　副教材：日本農業技術検定問題集 |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | ○畜産の授業内容と評価方法の説明<br>○日本の畜産の特徴と役割<br>○家畜の生理・生態と飼育環境 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・一年間の学習の流れを理解し，評価方法について知る。<br>・日本畜産の特徴，役割，畜産物の需給動向などについて学ぶ<br>・農業生産工程管理（ＧＡＰ）と畜産物の概要を学ぶ。<br>・家畜の生理，生態と飼育環境の調節，家畜排せつ物の処理などについて学ぶ | 畜産農家やＪＡ，獣医等との連携 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>授業ノートの提出及び考査毎のノート提出を行います。 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。<br>１．毎時間の学習に取り組む意欲・態度（忘れ物・遅刻・服装・出席）や興味・関心について，課題の提出状況（ノート・レポート）と定期考査等の成績などで評価します。<br>２．実習を伴う科目のため，実習における興味・関心・意欲・態度等を時間毎に評価します。 | | | | |
| 二学期 | ○家畜と飼料<br>○家畜の飼育<br>（１）養鶏<br>（２）養豚 | 7<br>9<br>10<br>11<br>12 | ・栄養素と飼料成分，家畜の消化器官，飼料作物と草地管理などについて学ぶ<br>・鶏の特性を知る<br>・ふ化・育雛について学び，実際に実習する<br>・糞の利用と処理について学ぶ<br>・豚の特性，品種と選び方について学ぶ<br>・養豚の施設設備とその利用について学ぶ | 畜産農家やＪＡ，獣医等との連携 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>授業ノートの提出及び考査毎のノート提出を行います。 | | | | |
| | 【２学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。<br>1．毎時間の学習に取り組む意欲・態度（忘れ物・遅刻・服装・出席）や興味・関心について，課題の提出状況（ノート・レポート）と定期考査等の成績などで評価します。<br>2．実習を伴う科目のため，実習における興味・関心・意欲・態度等を時間毎に評価します。 | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | | 1<br>2<br>3 | ・豚の繁殖と子豚の育成について学ぶ<br>・豚の肥育と豚肉の流通について学ぶ<br>・豚の病気と予防衛生について学ぶ<br>・養豚の経営について学ぶ | | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>授業ノートの提出及び考査毎のノート提出を行います。 | | | | |
| | 【三学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。<br>１．毎時間の学習に取り組む意欲・態度（忘れ物・遅刻・服装・出席）や興味・関心について，課題の提出状況（ノート・レポート）と定期考査等の成績などで評価します。<br>２．実習を伴う科目のため，実習における興味・関心・意欲・態度等を時間毎に評価します。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。<br>１学期の成績，２学期の成績及び３学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。 | | | | | |

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 体験的，継続的な飼育活動と観察，実験，調査，記録などの学習活動をとおして家畜の生理・生態的な特性や飼育環境及びそれらと生育の相互関係を理解し，飼育に関する基本的，体系的な知識と技術を習得したか。 | ・飼育活動や学習活動への参加の仕方<br>・提出物や配布資料の利用方法<br>・定期考査や実習態度 |
| 思考・判断・表現 | 体験的，継続的な飼育活動と観察，実験，調査，記録などの学習活動をとおして課題を多面的に考察し，家畜の生理・生態的な特性や飼育環境及びそれらと生育の相互関係を理解し，それらを活用して課題を適切に判断して，課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力及び，家畜の観察や考察などを正確に表現できたか。 | ・飼育活動や学習活動への参加の仕方<br>・提出物<br>・配布資料の利用方法<br>・定期考査 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 家畜の飼育と経営の学習をとおして，畜産が豊かな生活を提供する社会的役割を担っていることを理解し，飼育の楽しさを体験することで，畜産に関する学習に主体的に取り組めたか。 | ・飼育活動や学習活動への参加の仕方<br>・提出物<br>・配布資料の利用方法<br>・定期考査や・実習態度 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B<br>「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C | | |

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ①授業をしっかり聞き，重要な文章には赤線を引く。<br>②ノートは大きな字で書く。<br>③分からないところはそのままにせず，先生に聞きにくる。<br>④疑問を持つこと。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ①座学では始まりのチャイムで着席しておくこと。<br>②積極的に発言すること。<br>③実習では，先生の注意や指示を厳守すること。<br>④服装は正しく着用すること。 |
| その他 | ・継続的に管理する事で家畜の見方や扱い方や管理を学び，家畜に対する興味・関心を持ってもらいたい。<br>・家畜の調査，観察，スケッチ，実験を通じて，家畜への理解を深め，今後の畜産について考えよう。<br>・放課後や空き時間を利用して積極的にプロジェクト学習に取り組みましょう。 |

（新課程用）

| | | |
|---|---|---|
| （教科）　農業 | 単　位　数 | 2　単位 |
| （科目）食品製造 | 学科・学年 | 農林技術科　　・　　第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1　食品製造に必要な知識と技術を習得し，食品の特性と加工方法および貯蔵の原理を理解します。<br>2　品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てます。<br>3　１と２の学習の成果に立って，科学的思考力と問題解決能力を伸ばし，食品製造や加工技術の発展を図る能力と態度を育てます。 |
| 使用教科書・副教材等 | ・教科書　　実教出版　「食品製造」<br>・副教材　　農業技術検定問題集「食品科学」の分野 |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 学　習　内　容 | 月 | 学習のねらい | 備　考<br>（学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など） | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | (1)本校の食品製造<br>(2)HACCP について<br>(3)第１章<br>食品製造の意義と動向<br>(4)第２章<br>食品製造の基礎<br>(5)第６章<br>5　果実類の加工 | 4<br>5<br>6<br>7 | (ｱ)本校の加工品についての製造方法や施設設備等を知り，今後の学習の基盤とします。<br>(ｱ)HACCP について理解します。<br>(ｱ)食品製造の意義と食品産業の現状と動向について理解します。<br>(ｱ)食品の分類や食品の科学性について総合的な学習をし，食品製造の内容を理解します。<br>(ｱ)イチゴ，甘夏，梅を原料に果実類の加工特性や加工品の種類，製造方法などを理解します。 | ○機械の説明や実習の内容について説明します<br>○食品衛生について実験実習をします。<br>○食品製造実習を行います。<br>・ｲﾁｺﾞｼﾞｬﾑ･梅ｼﾞｬﾑ<br>・甘夏ﾏｰﾏﾚｰﾄﾞ・梅干<br>・豚味噌 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>○授業でのワークシート，考査終了後に授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。<br>○実習の始めに製造についての口頭質問・小テストを行い，理解度を確認します。 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>○学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価します。学期末において，観点ごとの総括的評価を行います。 | | | | |
| 二学期 | (5)第３章<br>食品の変質と貯蔵<br>(6)第７章<br>1　肉類の加工<br>(7)第８章<br>発酵食品の製造 | 7<br>9<br>10<br>11<br>12 | (ｱ)食品の品質を低下させる原因について理解し，食品としての価値をできるだけ維持するための貯蔵方法を習得します。<br>(ｱ)豚肉を中心に肉類の加工特性，加工品の種類，製造方法を理解します。<br>(ｱ)発酵食品の種類と特徴，微生物や酵素の働きを利用した製造の原理，製造技術の変遷について理解し，基本的な知識と技術を習得します。 | ○食品製造実習を行います。<br>・豚味噌<br>・ベーコン<br>・麦みそ<br>・甘酒<br>・ジャム類 | 中間考査<br>期末考査 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 【課題・提出物等】<br>○授業でのワークシート，考査終了後に授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。<br>○実習の始めに製造についての口頭質問・小テストを行い，理解度を確認します。 | | | | |
| | 【第２学期の評価方法】<br>○学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価します。学期末において，観点ごとの総括的評価を行います。 | | | | |
| 三学 | (8)第４章<br>食品加工と食品衛生<br><br>(9)第６章<br>１　穀類の加工 | 12<br>1<br>2<br>3 | (ｱ)食品の安全確保と衛生管理の重要性を理解し，安全で衛生的な食品を製造する態度を養います。<br>(ｱ)米と小麦について，その種類や加工特性を理解します。 | ○食品製造実習を行います。<br>・ﾊﾟﾝ・ｸｯｷｰ・ｽﾎﾟﾝｼﾞｹｰｷ・豚味噌・麦みそ・ｼﾞｬﾑ類・甘酒 | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>○授業でのワークシート，考査終了後に授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。<br>○実習の始めに製造についての口頭質問・小テストを行い，理解度を確認します。 | | | | |
| | 【第３学期の評価方法】<br>○学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価します。学期末において，観点ごとの総括的評価を行います。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>○各学期末における観点別評価を基に，総合して学期末に５段階の評定にまとめます。 | | | | | |

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ○座学で習得する知識と製造実習で習得する知識・技術をリンクさせて，食品の特性と加工方法および貯蔵の原理を理解しましょう。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ○衛生管理，健康管理，整理整頓を常に念頭において，製造実習に取り組みましょう。<br>○板書は必ず記録しましょう。 |

（２）評価の観点，内容及び評価方法

皆さんの学習状況は,「知識・技能」,「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | ○食品製造について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けているか。 | ○定期テスト　○提出物<br>○製造実習における態度<br>○機械や器具の操作 |
| 思考・判断・表現 | ○食品製造に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養っているか。 | ○定期テスト<br>○プリント<br>○製造実習における態度<br>○商品開発作品 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○食品製造について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的な態度を養っているか。 | ○製造実習における態度<br>○商品開発 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>Ａ……「十分満足できる」状況と判断されるもの<br>Ｂ……「おおむね満足できる」状況と判断されるもの<br>Ｃ……「努力を要する」状況と判断されるもの | | |

３　担当者からのメッセージ

| |
|---|
| 他人の生命にかかわる分野でもあり，安全衛生面が第一ですので，日々の自己管理をきちんとしてください。また，常に商品開発を視野に入れて学習してほしいです。 |

（新課程用）

| （教科）農業 | 単　位　数 | ２　単位 |
|---|---|---|
| （科目）地域資源活用 | 学科・学年 | 農林技術科　・　第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | １．地域資源の活用について関連する技術を身に付ける。<br>２．実践的・体験的な学習活動を行うことを通して，地域資源の活用に関する課題を発見し解決する力を養う。<br>３．地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |
| 使用教科書・副教材等 | ・教科書　　実教出版　「グリーンライフ」 |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 学　習　内　容 | 月 | 学習のねらい | 備　考<br>（学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等の関連など） | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | (1)本校の加工品と地域資源活用<br><br>(2)地域資源活用の意義と役割 | 4<br><br>5<br><br>6<br><br>7 | (ｱ)本校の加工品についての製造方法や施設設備，ラベル，価格等を知り，今後の学習の基盤とします。<br>(ｲ)「更生之素」についての歴史を知ります。<br>(ｱ)地域社会，コミュニティの変化と現状・課題について理解します。<br>(ｲ)地域社会における課題解決に向けた施策を考案し，その方法について協働的に取り組みます。<br>(ｳ)異業種連携と商品価値について理解します。 | ○食品製造実習を行います。<br>・豚味噌　・麦みそ<br>○梅・ブルーベリー農園での収穫実習<br>○地元の特産品の市場調査<br>○地域調査<br>○資源探検ワークショップ | 中間考査<br><br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>○ワークシート，考査終了後に授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。<br>○課題学習についての口頭質問・小テストを行い，自主性・理解度を確認します。 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>○学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価します。学期末において，観点ごとの総括的評価を行います。 | | | | |
| 二学期 | (3)地域資源の価値と活用 | 7<br>9<br>10<br>11<br>12 | (ｱ)地域資源と安定的な食料生産と環境保全及び資源活用について考察し，適切な資源を選定します。<br>(ｲ)商品開発についての概要と実施の手順について理解します。<br>(ｳ)サービス業への活用を理解し，地域ネットワークとの繋がりと有効活用の必要性を確認します。 | ○食品製造を行います。<br>・豚味噌　・麦みそ<br>○商品開発に向けた実験実習を行います。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>○授業でのワークシート，考査終了後に授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。 | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ○実習の始めに製造についての口頭質問・小テストを行い，理解度を確認します。 | | | | |
| | 【第２学期の評価方法】<br>○学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価します。学期末において，観点ごとの総括的評価を行います。 | | | | |
| 三学 | (3)地域と連携した活動 | 12<br>1<br>2<br>3 | (ｱ)地域資源のマーケティングとブランドづくりについての知識・技術を習得し，魅力を伝える実践を行います。<br>(ｲ)起業や六次産業化について理解します。 | ○食品製造実習を行います。<br>・豚味噌　・麦みそ<br>・甘酒　　・米飴<br>○実践発表会 | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>○授業でのワークシート，考査終了後に授業で記録したノートと考査での訂正を提出します。<br>○実習の始めに製造についての口頭質問・小テストを行い，理解度を確認します。 | | | | |
| | 【第３学期の評価方法】<br>○学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価します。学期末において，観点ごとの総括的評価を行います。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>○各学期末における観点別評価を基に，総合して学期末に５段階の評定にまとめます。 | | | | | |

（２）評価の観点，内容及び評価方法
皆さんの学習状況は,「知識・技能」,「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | ○地域資源活用に関する基礎的な知識や技能を身につけているか。また，実技を通して実践的な力をつけたか。 | ○学習活動への参加の仕方や態度<br>○ワークシート・レポート<br>○定期考査 |
| 思考・判断・表現 | ○農林業・農山村に関する課題を多面的に考察しているか。また，課題を科学的にとらえて合理的に解決し，表現できる実践的な態度を身につけているか。 | ○学習活動への参加の仕方や態度<br>○ワークシート・レポート<br>○定期テスト<br>○実践作品 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○地域資源活用について興味・関心を高めているか。また，課題の探求に意欲的に取り組み，その課題を科学的にとらえて合理的に解決しようとする実践的な態度を身につけているか。 | ○学習活動への参加の仕方や態度<br>○ワークシート・レポート<br>○定期考査<br>○実践作品 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>Ａ……「十分満足できる」状況と判断されるもの<br>Ｂ……「おおむね満足できる」状況と判断されるもの<br>Ｃ……「努力を要する」状況と判断されるもの | | |

３　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ○常に主体的に取り組み，考えや調査した資料などを必ず記録しましょう。<br>○ワークショップ型の取組が主です。一人ひとりが参加し，自分の考えを表現できるように努力しましょう。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ○始業のチャイムで授業を始める準備が整っているようにして，授業に集中するとともに板書は必ず記録し，忘れ物がないようにしましょう。<br>○外部の方との交流もあります。身だしなみはきちんとし，礼儀正しい態度で取り組みましょう。 |
| その他 | 地域資源活用は農林業・農山村の多面的な機能を学ぶ教科です。地域を支える視点で自分たちができることは何か考え，積極的に授業をうけることを期待します。 |

（新課程用）

| 農　　業<br>林産物利用 | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1　木材の構造，性質や用途を理解し，木材を製材，加工，利用する知識と技術を習得する。<br>2　製材に関すること，木材工作に関すること，木材の乾燥や保存に関することについて課題を見いだし，合理的・創造的に解決する力を養う。<br>3　林産物の多様な利用について自ら学び，主体的協働的に取り組む姿勢を身につける。 |
| 使用教科書・副教材等 | 林産物利用（実教出版），林業白書 |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 第１章　森林資源の循環利用と林業・林産業<br>第１節循環資源としての木材<br>第２節木造建築と循環<br>第３節林産業の現状と動行<br>第１木材加工業の現状と課題<br>第２特殊林産物製造業の現状と課題<br>第２章　木材の性質と用途<br>第１節木材の構造<br>第１木材の肉眼的構造<br>第２木材の顕微鏡的構造 | 4<br>5<br>6<br>7 | ・森林の役割と木材産業について理解します。<br>・木材資源と林産加工の関わりについて理解します。<br>・木造建築やその機能について理解します。<br>・林産工業・林産産業の動向や林産加工関係の仕事について理解します。<br>・木材の特性と用途について理解し，木材が自分たちの暮らしにどのように利用されているか理解します。<br>・木材の肉眼的構造（断面・木材の方向など）について理解します。<br>・木材の顕微鏡的構造について理解します。 | ・森林資源や木造建築の環境的な意義や木材産業について調べます。<br>・自分の家で木材が利用されているかレポートを書きます。<br>・木材を実際に見てスケッチをして構造についてレポートを書きます。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 第２節木材の性質<br>第１木材の物理的性質<br>第２木材の機械的性質<br>第３木材の化学的性質<br>第３節　木材の用途<br>第１木材の特性と用途<br>第２木材の様々な利用<br>第３章　製材と木材の工作<br>第１節製材<br>第１鋸<br>第２製材作業<br>第３製材機械<br>第２節木材の乾燥と保存<br>第１木材の乾燥<br>第２木材の保存 | 9<br>10<br>11<br>12 | ・木材の物理的性質，機械的性質，化学的性質について理解します。<br>・木材の強度や弾性などと木材の比重，含有水分や傷などとのかんけいについて考察します。<br>・木材の特性や製材用，パルプ・チップ用，合板用などの様々な木材の利用について木材の特性と用途の関係について考察します。<br>・製材木取り，製材行程や製材機械，主な樹種の乾燥，用途に応じた乾燥について理解します。<br>・木材乾燥の施設・設備，木材の乾燥と保存について木材資源の効率的利用や木材利用における保存の必要性について考察します。 | ・木材の収縮膨張が繊維方向，半径方向，接線方向で異なることを確認します。<br>・製材機械の操作と作品製作を行います。<br>・まとめとして結果をレポートにまとめ提出します。 | 中間考査<br>期末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【２学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 第３節　木材の工作<br>第１工作法<br>第２木材加工機械<br>第３塗装 | 1<br>2<br>3 | ・木材の種類や状態に応じた切削加工，面削り作業を理解します。<br>・木工工作法および塗装，刃物と切削との関係，事故防止について考察します。 | ・まとめとして結果をレポートにまとめ提出します。 | 学年末考査 |
| | 【課題・提出物等】<br>配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【三学期の評価方法】<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 【年間の学習状況からの評価方法】<br>※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。 | | | | | |

（２）評価の観点，内容及び評価方法

学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | 林産物の利用について体系的・系統的に理解しているとともに，関連する技術を身に付けている。 | ・定期考査，発言<br>・レポート記入<br>・行動観察，実技 |
| 思考・判断・表現 | 林産物の理由に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決している。 | ・発表の仕方や内容<br>・定期考査，レポート<br>・行動観察，実技 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 林産物が多様な利用につながるよう自ら学び，農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 | ・出席状況<br>・定期考査，発言<br>・行動観察，実技 |
| 【観点別学習状況の評価】<br>「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A<br>「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B<br>「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C | | |

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ・実習も含めて，「林産物利用」の学習を一つ一つ着実にていねいに積み重ね，林産物の加工など様々な場面で活用できる基礎知識や応用力実践力を身に付けてください。<br>・地域を支える視点で自分たちができることは何か考え，積極的に授業に望むことを期待しています。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ・座学においては，教科書・ノート，実習においては，実習服など学習に必要な道具の準備を忘れないことが大切です。<br>・授業中の指導者の指示に従うこと。特に，実習においては危険を伴う場合があるため，指導・注意されたことを守るようにしましょう。<br>・指示をよく聞いて，提出物は必ず出しましょう。 |
| その他 | ・森林資源を活用する林産物利用について，地球の未来を創る産業の視点で捉え，地球環境問題についても考えてください。つけましょう。<br>・実習では，学校生産物（鉢カバー，丸椅子，ベンチ，木炭，木酢液）の製作にも取り組みます。指導者の指示に従い，事故や怪我をしないように真剣に取り組みましょう。 |

（新課程用）

| 農業<br>測量 | 単位数 | ２単位 |
|---|---|---|
| | 学科・学年 | 農林技術科・第２学年 |

1　学習到達目標等

| | |
|---|---|
| 学習の到達目標 | 1　測量に必要な知識と技術を習得します。<br>2　実際に各種の事業に応用する能力と態度を身に付けます。 |
| 使用教科書・副教材等 | 農業測量（実教出版） |

2　学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

| 学期 | 単元名<br>学習内容 | 月 | 学習のねらい<br>評価規準 | 備考<br>(学習活動の特記事項他) | 考査 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一学期 | 測量のわけ方<br>測量のすすめかた<br><br>1 平板測量<br>(1) 平板測量の器具<br><br>(2) 平板のすえつけ<br>(3) 平板測量の方法<br>(4) 平板測量の応用<br><br>(5) 平板測量の誤差<br>(6) 面積の算定<br>(7) 平板測量の製図 | 4<br><br>5<br><br>6<br><br>7 | ・測量の目的によって，いろいろな種類があることを知る。<br>・測量の作業手順を学ぶとともに，誤差が伴うことを理解します。<br>・平板測量に用いる器具の名称，取り扱いすえつけを理解します。<br>・平板測量のための距離測定，道線法による誤差の調整ができるようにします。<br>・アリダードを使用し，傾斜の測定，高低差及び距離が算出できるようにします。<br>・平板測量の各種誤差とその原因を理解します。<br>・面積の算定<br>・測量図の製図 | ・平板測量の作業順序を理解し，観測から計算，製図までの流れを取り扱います。 | 中間考査 |
| | | | | ・農業クラブ平板測量競技大会へ向けての練習にも取り組みます。 | 期末考査 |
| | 【課題・提出物等】　配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【第１学期の評価方法】<br>1　毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。<br>2　定期考査７０％，学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）２０％，提出物（ノート・レポート）１０％の配分で行います。<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |
| 二学期 | 2　水準測量<br>(1) 水準測量の器械・器具<br><br>(2) 水準測量の方法<br><br>(3) 野帳の記入法<br><br>(4) 交互・間接水準測量<br><br>(5) 水準測量の誤差 | 7<br><br>9<br><br>10<br><br>11<br><br>12 | ・レベルの種類やしくみを理解します。<br>・レベルの基本操作が出来るようになります。<br>・レベルを用いた測量の基本を理解します。<br>・２つの野帳（昇降式，器高式）を理解し，記入や計算が出来るようになります。<br>・交互・間接測量について理解し，測量出来るようになります。<br>・レベルを用いた測量の精度や誤差に及び，誤差の修正方法について理解します。 | ・レベルによる観測方法を総合実習で扱います。 | 中間考査 |
| | | | | ・高低差測定の方法と野帳記入方法を習得します。<br><br>・誤差の修正や回避ができるようになります。 | 期末考査 |
| | 【課題・提出物等】　配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | |
| | 【２学期の評価方法】<br>1　毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や実技などで評価します。<br>2　定期考査７０％，学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）２０％，提出物（ノート・レポート）１０％の配分で行います。<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 3　角測量<br>(1) 角の種類と測角機械の構造<br>(2) セオドライトの検査<br>(3) 角の測定<br>(4) 角測量の誤差 | 1<br>2<br>3 | ・セオドライトの種類やしくみを理解します。<br>・セオドライトの各種検査，調整が出来るようになります。<br>・セオドライトを用いた角測量を理解し，実際の測量ができるようになります。<br>・角測量の誤差を理解しその誤差を消去出来るようになります。 | ・セオドライトによる観測方法を総合実習で扱います。<br>・水平角の各種の測定方法ができ，野帳の記入ができるようにします。 | 学年末考査 |
| 【課題・提出物等】 配布プリントの提出，ノートの提出，テスト訂正の提出 | | | | | |
| 【三学期の評価方法】<br>1　毎時間の学習時間への取り組む態度や課題の提出状況と定期考査等の成績や小テストなどで評価します。<br>2　定期考査７０％，学習に取り組む態度や関心・意欲（忘れ物・遅刻・服装・出席・授業態度）２０％，提出物（ノート・レポート）１０％の配分で行います。<br>※学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し評価する。学期末において，観点ごとの総括的評価を行う。 | | | | | |

【年間の学習状況からの評価方法】
１学期の成績，２学期の成績及び３学期の成績を総合し，年間の学習成績とします。
※各学期末における観点別評価を基に，それを総合して学年末に５段階の評定にまとめる。

（2）評価の観点，内容及び評価方法
学習状況を，「知識・技術」，「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。

| 評価の観点及び内容 | | 評価方法 |
|---|---|---|
| 知識・技能 | ・測量の目的に必要な知識を理解し，基礎的な知識を身につけ，測量の方法，誤差の調整等を理解しているか。<br>・測量器具を正確に取り扱い，測量方法及び，誤差の調整における技術や能力を適切に身につけているか。 | ・学習活動への参加の態度<br>・定期考査，レポート<br>・測量器具の取り扱い，方法，誤差の調整，面積の計算方法 |
| 思考・判断・表現 | ・測量の目的に応じて課題解決を目指した思考，測量結果の整理と誤差の原因について考察しているか。 | ・定期考査，レポート<br>・誤差の調整，,製図 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・測量の学習に興味・関心を高め，測量に関する課題に主体的,意欲的に取り組む実践的な態度を身につけているか。 | ・学習活動への参加の態度<br>・出席状況<br>・継続的な記録の有無 |

【観点別学習状況の評価】
「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・・・・・・・A
「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・・・B
「努力を要する」状況と判断されるもの・・・・・・・・・・・C

3　担当者からのメッセージ

| | |
|---|---|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | ①　始業のチャイムで授業を始める準備が整っているようにしよう。<br>②　授業はしっかり聞き，復習をしよう。<br>③　主体的に取り組みましょう。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | ①　忘れ物がないようにする。<br>②　授業中は集中し，積極的に発言しよう。 |
| その他 | 測量の主な目的は，地図や図面の作成，またこれらに含まれる情報を利用することである。その情報は，各種事業の調査・計画・設計・施工などを行う場合の技術的な基礎資料となる。測量とは，地球表面上にある各地点の相互の位置関係を測定して，その方向または角度・距離，高低差などを求め，その結果をもとに地図や図面を作成し，さらに形状・面積・体積などを算出する技術である。日常生活の中で，様々な場面で測量の技術が利用されていることを理解し，意欲的に授業に望むことを期待しています。 |